

ナーズ通信 第6号

あけましておめでとうございます。

埼玉県立がんセンターです。皆さんは、クリスマス・お正月と楽しく過ごせましたでしょうか？ ナース通信第6号は、コロナ感染拡大予防のため自粛していた「クリスマスコンサート」と「キャンドルサービス」を、センター接遇委員会と看護部接遇委員会との協賛で4年ぶりに開催することができました。12月22日、昼・夜の2部構成で開催した様子をご報告します。

昼の部

ボランティアの方々によるクリスマスコンサートを開催しました。クリスマスソングでは、看護師も歌に合わせて鈴を鳴らしてコンサートに参加しました。また、戦場のメリークリスマスのピアノ演奏は、とても感動しました。最後の歌は、「昴」で、患者さんも歌に合わせて体を揺らしていました。声出しはできませんでしたが、一緒に歌っているようでした。歌とピアノの演奏で、患者さんは笑顔になり、私たち看護師も癒されました。



コンサートの様子

夜の部

キャンドルサービスを行いました。こちら、4年ぶり！ペンライトを持ち「聖歌隊」ならぬ、『ハミング隊』（感染予防で声出しなし）で各病棟を回りました。患者さんは、病室から廊下に出て、手を振って歓迎してくれました。中には、涙される患者さんもおられ、こちらも涙、とても、素敵な夜を患者さんと過ごすことができました。



玄関前のイルミネーション



次回は、
循環器・呼吸器病センターです